

- 臨床経験を強みに | 理学療法士のキャリア

# 理学療法士の職務経歴書、 何をどう書けばいい？

臨床で積み上げた経験を採用側に伝わる言葉へ翻訳すれば、異業種でも十分に評価されます。



臨床の話しか  
書けなくて、手が止まっちゃうん  
です…！



臨床経験は、翻訳すれば立派な強  
みよ。順番に見ていきましょう。



- 履歴書と職務経歴書は役割が違う

履歴書



氏名・学歴・職歴を**定型フォーマット**で示す証明書

職務経歴書



担当領域・実績・スキルを**自由な構成**でアピールする提案書

採用側が本当に知りたいのは「何ができるか」の方なの。



売り手市場のいま



理学療法士の有効求人倍率は**4.53**。だからこそ「何ができる人か」を示す職務経歴書に力を入れる

## ● 職務経歴書にそろえる5つの必須項目

### 1 職務要約

冒頭3行で経歴の全体像を示す

### 2 職務経歴

施設ごとに担当疾患・患者数を書く

### 3 活かせる知識・スキル

評価スキル・チーム連携を棚卸し

### 4 資格・研修

免許・認定資格を正式名称で明記

### 5 自己PR

強みを応募先の業務に結び付ける

上から順に書けばいいんですね…！





## ● 臨床の言葉を「伝わる強み」へ翻訳する

患者対応力



傾聴と多職種連携の実績を誰に・どう関わり・どうなったかで示す

科学的視点



評価データで仮説を立て計画を修正してきた論理的思考

翻訳のコツ



専門用語をそのまま使わず、行動と成果に分解する。治験業界で評価されやすい2大強み

「ADL評価」も、行動と成果に分解すれば外にも伝わるわ。





- 臨床経験が活きる代表職種はCRCとCRA

治験コーディネーター(CRC)



医療機関に常駐し被験者対応。年収目安**300～450万円**（未経験時）

臨床開発モニター(CRA)



複数施設を訪問しデータ確認。年収目安**350～500万円**（未経験時）

共通点



どちらも医療現場と接点が多く、患者対応力と科学的視点がそのまま強みになる

CRCは施設に根を張るタイプ、CRAは施設をまわるタイプよ。





## • まとめ | 臨床経験を強みに翻訳して書く

- ✓ 職務経歴書は「何ができる人か」を示す提案書
- ✓ 5つの必須項目をそろえ、担当領域は数字で具体的に
- ✓ 患者対応力と科学的視点を応募先の業務に結び付ける

臨床で積み上げた経験は、病院の中だけで完結するものではないの。  
まずは自分の強みを、丁寧に言葉にしてみましょう。

